

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース

“黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)
 〒271-0092 松戸市松戸 1834- 5 小川ビル 2 階
 TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546
 E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

熊本地震に想う

この度の熊本地震で被災された皆様お見舞い申し上げます。また、亡くなられた方には心からお悔やみ申し上げます。東日本大震災の復旧・復興が終わらない中での九州での震災。日本は地震大国であることを強烈に突き付けられた感があります。伊方原発と川内原発のことが心配になりました。熊本・大分市民の生活再建は、どうなることでしょうか。私共、松戸・東北交流サロン黄色いハンカチでも、できるお手伝いを考えた結果、募金活動を始めています。引き続き市民の皆様・避難者の皆様ご支援よろしくお願い申し上げます。

昨日、松戸市役所で知人と出会い話を聴きました。知人は松戸友の会で活躍しています。熊本大学・助産婦会等が、「熊本地震周産期医療対策プロジェクト」を立ち上げた由です。熊本友の会も参加し「友の家」は母子のための避難所になっているとの事です。助産婦さん・保健師さん・友の家スタッフさんなどが被災ママへ寄り添う支援を続けています。新聞報道ですが、熊本の女性の言葉を紹介したいと思います。40代の女性の話「東日本大震災のニュースは心を痛めながら見ていたが、それでも、まだ他人ごとと受け止めていた。」と語り、最後に訴えた。「この熊本地震を人ごとと思わないでほしい」読売新聞報道。女性の言葉を大切に、今日から防災準備をしたいと思いました。 代表 古宮 保子

利雄が行く File4



大型連休の最終日。私は茨城県常総市で田植えイベントに参加しました。きっかけは去年の忘年会に来ていただいたフラメンコの皆さんからのお誘いです。この団体はこれまでにお会いした知り合いにも会えてよかったです。田植えイベントは1時間半。作業のあとは交流会をし、子供たちと一緒に楽しい日々を過ごしました。写真中央で苗をたくさん持っているのが私です。人一倍、田植えを行いました。軽い運動にもなりました。

佐藤利雄さんは、福島県南相馬市出身。現在、自主避難を語り合う会の代表を務め、多団体との交流を深めています。

講座「お茶の文化をたのしむ」がスタート!

6月9日(木) 13時~15時(毎月第2木曜日)

講師 友山邦雄さん(日本茶アドバイザー)

毎回テーマを決めてエピソードを交えながらお茶の歴史と文化を楽しみます。世界には200種類のお茶があるそうです。



第1回目は、「花茶」(バラ茶)を楽しみます。優雅な気分でリラックスタイムを過ごしてみませんか?

避難者の体験記

連載!私はその時こうだった 高野美香子さん(福島県南相馬市)

被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れないで知って頂き語り継ぐことで今後も起こりうるであろう大災害に対してどんな心構えができるのか?自分自身に問いかけして頂けたら幸いです。

3.11...この数字を口にすることで、あの日の光景を思い出します。あの日は、パートの仕事が終わり、子供達が通う小学校のすぐ近くの郵便局へ行きました。田舎の郵便局なので受付の子とも顔見知りです。世間話をしている最中に急な揺れ。それまで何日か前まで、震度3や4の揺れは頻りに起きていましたが、その日の揺れは「今までと違う」と直感しました。

受付の子とすぐ外に出て車にしがみつき、二人で揺れの大きさに震えていたのを今でも覚えています。電信柱が左右に大きく揺れ、地面が今にも地割れしそうな...今まで感じたことのない揺れの恐怖で言葉も出ません。一度揺れがおさまり、私は走って子供達がいる小学校へ向かいました。全校生徒は校庭の真ん中に集まっていて、しゃがみこんで震えている子、泣いている子、先生にしがみついている子。まさにその光景は声を失うものでした。自分の子供達を見つけ、いつもなら通学バスで帰宅させるのですが、その日は車に乗せて帰宅。自宅に戻って主人と両親の無事を確認

出来て安堵しました。

でも本当の苦しみはまだ始まりに過ぎません。原発事故の為、私の住む地域は屋内退避指示。食料はいつまで持つ?灯油はいつなくなる?子供が熱を出したら、病院はやっているのか?そんな不安が頭をよぎります。そんな時主人の両親から電話があり「子供を守る為に逃げろ!」と言われ避難を決意しました。東京のおじさんの所へ一家6人で避難。いつ帰れるか分からないまま約3週間過ごしました。子供達の学校が始まる事と、主人の仕事の関係で今住んでいる地に家族4人での避難生活が始まりました。あれから5年、南相馬に帰るかどうかが家族で何度も話し合い、その度に悩み、苦しみ、葛藤がありました。私達家族は後ろを振り返らず、前を進む道を選びました。先の見えない不安は今でも消えません。いつの日か不安が消える事を夢見て、家族4人で一歩ずつ歩んで行きたいと思っています。

「松戸でくらす」

私は引越し7回目、今ここ松戸で暮らしています。東京に近く、便利で物価が安く住みやすい。知り合いの多くは関東以外の出身者です。もちろん東北の方もいます。松戸には川があり、鳥がいて花も咲きます。そして「黄色いハンカチサロン」があります。ここに来てみんなでいろいろな話をしましょう。松戸や故郷、原発、これからのこと etc

大船渡市 70代 女性

みんなの広場

「本来ならば出来る筈のない貧困の差」

先ず避難指示区域が20キロ、30キロ圏内にきっちり指定されていて、本来ならば出来る筈のない貧困の差が生まれているのもとても問題だが、それ以上にもうこの場所には住めない、放射能の見えない恐怖の中で苦渋の決断を以て故郷を離れざるを得なかった避難者の方達が全国で今も希望が見えず、住宅問題や心身的な問題を抱えたままでも今も精神的追い詰められたぎりぎりの生活を続けている現状が見える。

松戸市 30代 女性

「置かれた場所で咲きなさい」

ある日の深夜放送(ラジオより)シスターの渡辺和子さんのお話です。置かれた場所で咲きなさい。雑用という用事はない。幸せは自分で決めるもの、相手のレベルに合わせて仕返しをしてはダメ。月が歪んでるのではなく自分の心が歪んでいるのだ。私は大のラジオファン記憶にある言葉を思い出して書いたものです。

松戸市 70代 女性

「一体全体この底なしの欲望とは？」

1986年原発事故のチェルノブイリが30年経過し、なんと世界の最もユニークな観光地のひとつに人気観光スポットとして選ばれたとアメリカの雑誌で紹介されたとのこと。個々にどんな理由で訪れるかは分からない。しかし驚愕の事実怒りを超え、唯々人間はどこまで人間としての尊厳を保つことができるのか？この様なことが存在する一体全体この底なしの欲望とは？そして福島は？チェルノブイリでは年間5ミリシーベルト福島では何と20ミリシーベルト！！正気の沙汰ではないもう取返しのつかないところまで落ちてしまった業の深さ。

南相馬市 60代 女性

避難者の「先の見えない不安」から少しでも気持ちが和らぎ、心が軽くなるように願いながら投稿のコーナーを作りました。日々の暮らし感じた想い不安や不満を本音で書いていただきました。

医療セミナー「お薬の話」

サロンに申込・先着30名

普段聞けないことも聞いちゃおう！

薬剤師さんがお話のお薬の話

6月23日(木)午後1時30分～3時

講師:松戸市立病院薬局長 生島五郎先生 30名

費用:無料 会場:松戸・東北交流サロン黄色いハンカチ

2016年度サポーター会員募集しています。

松戸・東北交流プロジェクトでは、千葉県に避難をしている皆さんと交流・支援をする活動をしています。この活動を応援していただくサポーターを募集しています。交流サロン黄色いハンカチで受付をしています。

個人:1口 1000円

法人・団体:1口 5000円

松戸・東北交流プロジェクトからのお知らせ

相談日を予約制とし、新たな出発となります。

避難者の方だけではなく市民の方もどうぞ

毎週金曜日午前10時～16時の間

年金・税金・法律・仕事の事・介護・サークルを紹介して！・お茶を飲みながら話をしたい・夫とケンカした！・お花の話・お料理の話・松戸に引っ越しをして間もないなどなんでもお問合せはサロンまたは古宮携帯 090-9963-8980

松戸・東北交流プロジェクト 活動報告会2016

参加者募集!!

今までのこと、これからの展望について、埼玉県の支援活動から学んで、皆さんと一緒に考えましょう

6月11日(土)午後1時～午後4時

費用:500円(資料代) 会場:松戸商工会議所

内容:①交流プロジェクト2015年度活動報告 ②基調講演「埼玉広域避難者支援センター」設立に至る活動の歩み

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」6月予定表

日時	内容	講師
7日(火) 13時30分～	歌の日 みんなで楽しく歌いましょう	市民ボランティア 前田洋子さん
毎週金曜日	相談日(予約制) 税務、法律、仕事、年金など	相談員 古宮保子さん
8日、22日(水) 13時30分～	初めての囲碁教室 一から教えます	市民ボランティア 今田靖雄さん
9日(木) 13時30分～	お茶の文化を楽しむ 「花茶」を楽しむ	市民ボランティア 友山邦雄さん
21日(火) 13時30分～	手芸の日 みんなで小物を作りましょう	市民ボランティア 戸丸栄子さん
23日(木) 13時30分～	医療セミナー 薬剤師さんがお話しする薬の話し	松戸市立病院薬局長 生島五郎先生
28日(火)	広域避難者交流会 語り合おう私たちのこれから	

■ アクセスマップ ■

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」
松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2F)



●毎週火・水・木 10時～16時オープン。
利用は1回100円です